

美 唄

美唄市よい歯のコンクール

6月8日(金)、午前9時30分より「美唄市保健センター」において美唄市よい歯のコンクールが開催されました。

今年の参加者は56人で、昨年度、三歳児検診でう触なしと診断された子供達でした。

私と小森会長、衛生士1名の3名で第一次検査をし、そこで選ばれた上位11名が二次審査へ進み、その中から最優秀賞1名、優秀賞3名を選び表彰式が行われました。

いつもながらこのコンクールは、もともと虫歯



のない子ばかりなのでですから落とす理由といたら、態度が悪い（泣く）とか咬合があまり良くないとかシーラントをしてある（シーラントがマイナス評価になることに疑問はありますが…）ということになるのですが、それも私達の主観（好み？）によるところが大きく、「なかなか難しいなあ..」と感じていました。そこで今年から小森会長の提案で、二次審査のみ歯垢染め出しを行うこととしました。

染め出しといっても全歯を染め出しては、帰る時恥ずかしいし、染めるのも審査するのも大変ということで、ブラッシングの難しい下顎Eの舌側と上顎Eの頬側の2ヶ所に限定して行いました。歯科医師の私が今さら言うのもなんですが、染め出し効果は明確に現れました。これで清掃状態を正確に判定でき、順位決定に大きく役立ちました。

ちなみに、今年も保護者の方にはコンクール出場となるような該当者はなく、残念なことに「親と子のよい歯のコンクール全道大会」への美唄代表者は今年もおりませんでした。

（吉村裕美子記）